

特定非営利活動法人 縄文柴犬研究センターまでの概史と

## 縄文柴犬について

五味靖嘉

### I-日本犬保存運動のはじまり

#### 1). 日本犬保存運動の提唱者

縄文柴犬は研究目的として、日本の風土に馴染んで現在、飼育されています。

しかし、1900年代頃には、日本の犬は雑種化が進み、このままでは滅びると考える方々が現れました。日本犬保存運動の提唱者に渡瀬庄三郎(注1)の影響があり、後に斉藤弘吉(注2)などが中心になって、1928年日本犬保存会が創立されました。

#### 2). 柴犬保存会との関わり

1935.10 戦時中に中城龍雄は日本犬保存会入会しました。その後、執行部との意見対立から、1959 柴犬保存会を創立・主宰し、「日本犬の純化」という課題を掲げ活躍しました。背景には、長谷部言人(注3)のアドバイスもあり、1980年ころから縄文イヌと似ている柴犬の作出に貢献しました。

1981年、中城龍雄氏(柴犬保存会創設者)(注4)と、私が最初の出会いになります。そして間もなく、柴犬保存会の会員になり、後に日本犬保存会にも1年間の会員にもなりました。当時、中城氏から譲渡の柴犬は、飼い主に馴れない、触らせない、逃げたら二度と捕まらない、心臓疾患がある。仔犬は簡単に死んでしまうなど、人と共存するには様々な問題点がありました。それから、犬関係の情報文献を探し読みふけりました。

当時、出版された金子浩昌著1984「考古学シリーズ・貝塚の獣骨の知識(東京美術)」を持参し、中城氏宅にて、2時間ほどの犬議論を重ねました。それが「甦ったか? 縄文犬!」という言葉が生まれた最初で、やがて仔犬希望者の広告掲載へと転嫁しました。

#### 3). 柴犬研究会の設立へ

1990年秋に、沢山の方々に支えられ柴犬保存会と決別して、「柴犬研究会」を創立しました。運営は会則に則った内容を基本とし、科学的成果に学び経験を生か

して柴犬の保存とその研究をする。という主旨に沿って会誌年4回発行・103号を数え、科学的成果に学ぶ一端として、豊かな内容の基礎ができました。そして、縄文柴犬という表現へと



発展します。その根本には、縄文柴犬が飼い主との馴染みやすい、それでいて獣害対策に充分活躍出来る、という社会的活用実験の一定の成果が挙げられます。

#### 4). JSRC の設立

2009.4・特定非営利活動法人縄文柴犬研究センターが設立されました。定款には「この法人は柴犬を愛する人が協力して、縄文柴犬の研究・保存・普及に関する事業を行い、動物愛護の精神に則り、平和で豊かな人と犬との共存社会を育むことに寄与することを目的とする。」とあります。

JSRC 会誌創刊号に初代理事長、現在、☆名誉会員・顧問 新美治一(元理事長、名古屋経済大学法学部・大学院法学研究科教授)は、「全てのことは、過去の積み上げがあると同時に、新たな営為を求めています。」と述べております。JSRCは、縄文犬についての時代・歴史・労働(価値)・社会環境など多面的に学ぶことです。縄文柴犬については、研究目的の法人組織であり、決して営利目的ではありません。

注1: 東京帝国大学の動物学教室の第5代教授。日本哺乳類学会初代会頭(日本百科全書) 天然記念物保護法の発令に向けて運動し、1919年に実現しました。同時に、「日本犬保守運動」の中心人物でもあり、急速に失われつつあった日本犬の保護に尽力しました。

注2: 1899生。日本の日本犬研究家、芸術家、古美術研究家。ペンネームは斉藤弘。1963『愛犬もの



三面村探検の際、民家に残された古式の狩衣付けた著者。「日本の犬と狼」より

がたり』文藝春秋新社（1983「全集日本動物誌12」講談社）、1963『犬科動物骨格計測法』自家、1964『日本の犬と狼』雪華社、『日本狼骨格の研究』、『日本史前家犬の分類』。東京都渋谷駅前の『忠犬ハチ公』を有名にした。第1次南極地域観測隊の『タロとジロ』他の樺太犬救出のために尽力した事でも知られる。

**注3:** 1882生。人類学者。学会議会員、文化財専門審議委員。日本人類学会会長。日本学士院会員。（1927）『自然人類学概論』。明石原人の研究をはじめ、幅広い活動をした。1945「石器時代日本犬」（動物考古学 No. 26、「長谷部言人博士の学位論文」石器時代日本犬）についての解題」茂原信生が解説。人類学以外に

左:長谷部博士、右:中城氏  
上野公園、展覧会会場



日本犬の研究でも著名。（1975 日本考古学選集15）  
**注4:**1904:北海道生まれ、(本籍:長野県駒ヶ根市)八ヶ岳山麓の小学校代用教員として過ごす。1924。上京し主婦の友社の記者、嘱託。「日本犬・歴史と将来」。1959。柴犬保存会創立、主宰。縄文時代の、イヌの姿形に似ている作出に道筋を開いた。

## Ⅱ-縄文柴犬について

### 1). 縄文柴犬とは

「縄文柴犬」とは、縄文時代のイヌそのものを指す呼称ではなく、研究目的として、他の犬と区分した名称です。また、商業活動は行っておりません(定款参照)。

縄文時代のイヌは、額段が浅く小級から中小級であり(表1)、頭骨などは縄文柴犬と似ています。品種改良を目的とせず、保存目的に繁殖・飼育・研究活動をし、原種性を保ち続けている意味では、わが国の文化遺産であり、額段の深いタイプではありません。

縄文柴犬として重要な事は、小級から中小級の犬で額が広く後頭部が発達し額段が浅く面長で、口吻部は太く頑丈なことです。(図1・2)

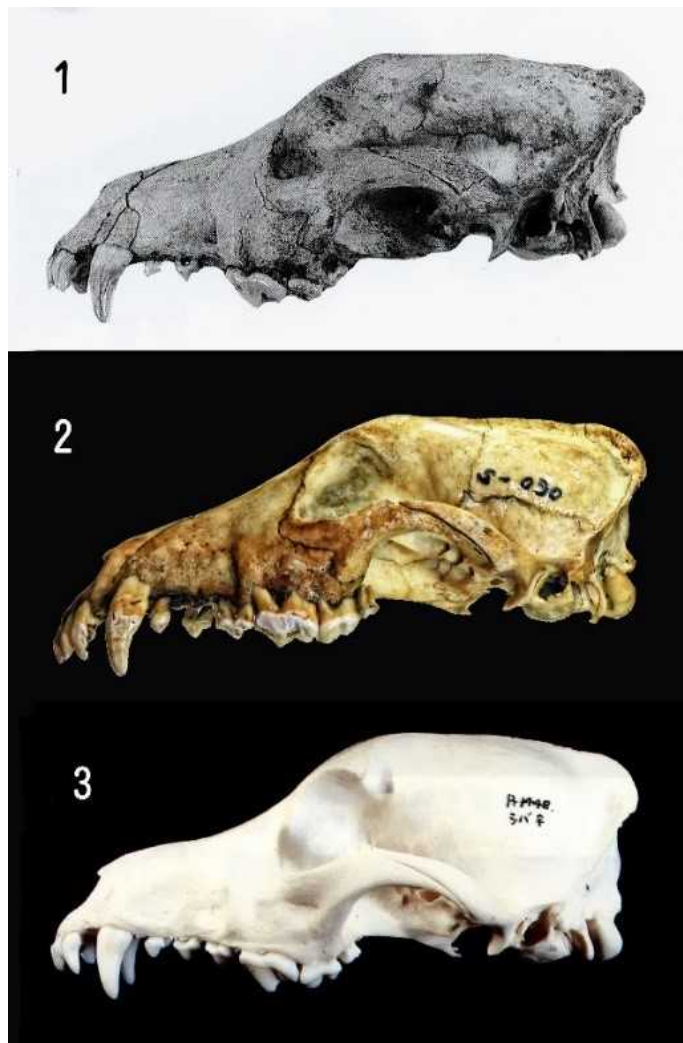
### 2). 縄文イヌの特徴

遺跡からの発掘によると、縄文時代のイヌの特徴は、額段:ストップが浅い(金子 1984)など、次のような特徴があります。

①全体に頑丈なこと(頭蓋骨、四肢骨)。②前頭部から鼻の先端にかけての窪み(額段、あるいはストップ。図2)が浅いこと。③頬骨弓の幅が小さく、顔の幅が狭いこと。④口吻部が太いこと。⑤歯の損傷や摩耗などが見られること。(1989 茂原)

図1 頭骨比較

- 1:縄文時代のイヌ(宮城県文化財報告書第111集「田柄貝塚出土犬骨の形態的特徴について・茂原信生ほか」)
- 2:縄文柴犬(筆者所蔵)
- 3:一般のシバイヌ(歯界展望70・6・茂原信生1987「ヒトの咀嚼器官の未来を示すもの」)



### 3). 小級から中小級である

縄文時代のイヌの体高は、36~46cm の小・中小級が殆どで、50cm 位の中級は極めてまれです。(金子)

縄文時代後期の田柄貝塚の出土 (1984・茂原、小野寺)に於ける頭骨と、縄文柴犬を比較しました。その結果、雄はほぼ横ばいという数値になり、雌は微量ながら大きくなっています。

一方、実測体高では、1997年頃 15年後の 2015年では雄が 0.8 cm、雌では 0.06 cm と大きくなる傾向が得られました。(体高測定基準定義に合致した個体選別の作業中です)。(図 3)

この中で、雄の頭骨最大長 163.78 mm は現況・縄文柴犬の体高 41.3 cm になります。雌の頭骨では 150.3 mm であり体高 36.4 cm という値になります。(表 2)雄の最大値は 46.5 cm (46.5 cm というのは、図 3 肩甲骨上端の測定が確認出来ないまま扱い)、最小値は 33 cm、雌の最大値 42.0 cm、最小値 31.0 cm という結果でした。(表 2)

### 4). 原種的・野性的

原種的というのは、人工的にあまり改良されなかった (内田亨 1948)、と言う意味で、やや激しい気性でありながら、鋭い警戒心があります。しかし、一旦信頼を深めた場合 (飼い主・人)には大変に素直で従順で、忠誠心のような性質 (心服) が強まり、頑固な反面、忍耐強く陽気で純情、様々な環境・条件に適応する能力 (研究協議・1987) があります。

野性的とは、野生動物風と考えても良いが、顔貌などの基本的な事柄は「額が広く平らで、額段が浅く」です。体躯構成は全体的に力強く締まり、無駄がなく弾力性があり、機敏で敏捷にして勇猛な状態を指し野生動物風と考えられます。即ち、野生動物と対峙する感覚と、いかなる状況にも対応出来る、俊敏な身のこなし方を意味します。

(以下は次項) (図 4.5)

土を食べる、野性の植物を食べるなどについては、動物には、二次化合物の解毒と関係があるようで、特にナトリウム不足とも関わるのではないかと考えられています。

(2003, Cindy Engel)

身近な植物、ドクダミ (ドクダミ科ドクダミ属の多年草)などは、人の整腸剤とか食材として昔から活用されていましたが、これはイヌも好んで食べる漢方薬

表 1 :長谷部言人(1952)によるイヌの型区分(抜粋、単位はmm) 動物考古学 2009No. 26 より部分

	小級	中小級	中級	中大級	大級
頭蓋最大長	-155	156-170	171-185	186-200	201-
下顎骨長	-113	114-124	125-135	136-146	147-
上腕骨長	-120	121-135	136-150	151-165	166-
橈骨長	-115	116-130	131-145	146-160	161-
尺骨	-140	141-155	156-170	171-185	186-
大腿骨長	-135	136-150	151-165	166-180	181-
脛骨長	-130	131-145	146-160	161-175	176-

表 2 (注 1:1 歳以上。注 2:長谷部の 5 段階分類)

縄文柴犬の体高調査(注1)単位cm					頭骨測定 単位mm			
調査年度	個体数	性別	最大値	最小値	平均値	縄文柴犬	田柄貝塚	分類(注2)
1997	49	♂	46.5	33	40.5	163.73	163.78	中小
2015	15		46.5	38	41.3			
1997	61	♀	42	31	36.4	155.7	150.3	中小
2015	26		41	34	36.5			

犬種	性別	体高	頭骨全長
		小一大	小一大
日本犬	♂	64-70	214.9-224.3
	♀	58-64	-
秋田犬	♂	48.5-51.5	151-194.2
	♀	45.348.5	168
北海道犬	♂	50-54	184.5 *2
	♀	46-50	-
紀州犬	♂	49-55	178.8-185.8
	♀	46-52	172-193.1
四国犬 *1	♂	40-50	161.5-181.6
	♀	40-50	136.7-172.6
甲斐犬	♂	33-46.5	146.4-181.5
	♀	31-42	144.6-175.4
縄文柴犬*3	♂	33-46.5	146.4-181.5
	♀	31-42	144.6-175.4

表 3 1980 在来家畜研究会報告(1 歳以上)

\*1:四国犬は太田測定による。

\*2:紀州犬の頭骨は五味所蔵の測定

\*3:2012.3 五味測定

でもあります。イヌが様々な草を食べ (ここではイネ科などを念頭に)、胃の中のを吐き出す事もあるが、ナトリウム不足とも関係があり、下痢の症状も病原体や毒を取り除く作用があるようです。縄文柴犬を観

ていると、体調が優れない様々な理由がある時は自ら絶食し、ひたすら休息をして保温し、自然治癒力に専念しています。(例:マムシに咬まれても同様の行為が観られます。)彼らが、時に嘔吐をするのも毒物や病原体を排出する反応行為(それとは別な理由もあるが、以下省略)であり、これは長い歴史の過程で、野性的・原種的に自然淘汰され、その結果、遺伝的に備わっていると考えられます。

### 5. 縄文柴犬の蹠 (あしのうら)

ニホンオオカミの蹠である第三指と、第四指の基部が融合している(小原 1990)。縄文柴犬とも相似しており、我が国の急峻な山岳地帯や岩盤地帯に適応したのではないかと考えられます。

この俊敏な動作に関連して、私の調査では縄文柴犬の蹠(あしのうら)の、第3指と第4指の基部が融合し、ニホンオオカミと似ています。この事象は、単なる早く走るというだけでなく、我が国の急峻な山岳地帯を軽快に音も無く走りまわっていたニホンオオカミとも共通しているのではないかと考える事ができるでしょう。(図4・5)

図2

額段(ストップ)

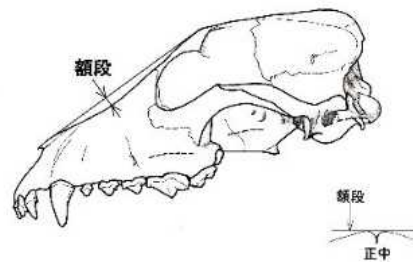


図3

体高と体長

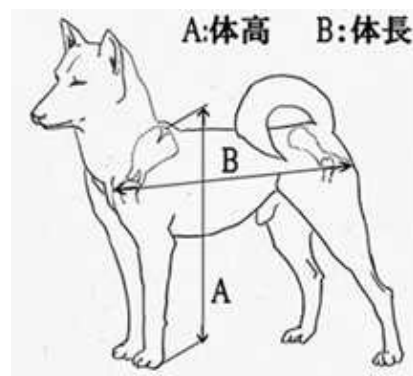


図4 左:ニホンオオカミの蹠(小原巖 1990 神奈川自然史資料)

右:最近の縄文柴犬の蹠

### 6. 犬の特殊性と縄文柴犬

#### ①変異し易い - 細心の注意が必要

非公認記録ではあるが、犬種はおよそ700以上といわれ、国際畜犬連盟(FCI)による体高が世界最小のチワワは15~23cm、体重0.5~3.0kg、最大とされるマスティフは70~76cmを超え、体重79~86kgを超えます。

同じ種の *Canis lupus* という中に、体高約4倍、体重約60倍あるという動物は他に存在しません。

(図6.7)

「人為的な交配をさせすぎたため、生物学の常識が、イヌには通用できないのです。」と云われております。

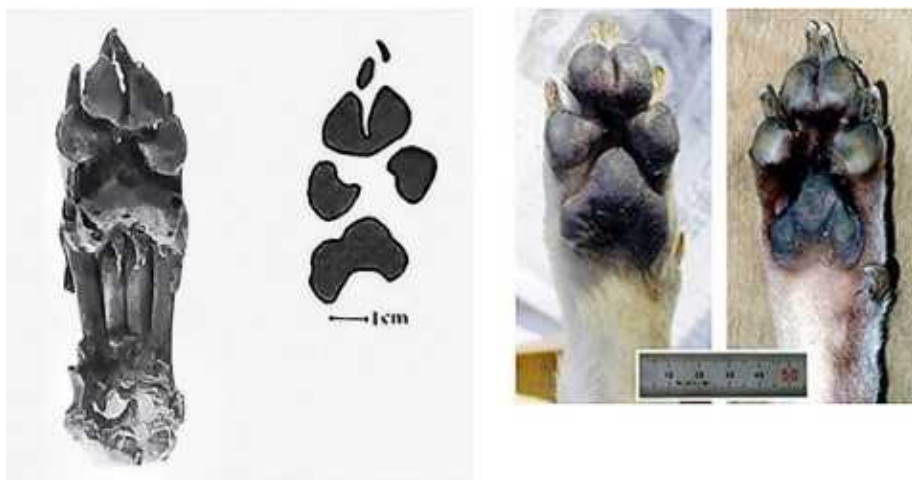


図5 左:和歌山大にあるニホンオオカミの頭骨

右:最近の縄文柴犬

②進化という観点

小原秀雄(2001.5)は「イヌの新しい進化を想定する」の中で、イヌと人は1万年以上特殊な共生関係であり、相互進化とよばれる法則性に基づいた歴史的变化が起こっている筈である、と述べています。つまり、ここでは縄文柴犬が、それぞれの時代的環境・条件に於いて、適切な繁殖の結果「適応」する能力を維持しているかと考え、保存する事が大切ではないでしょうか。

<オキシトシン>

麻布大学の菊水健史教授による研究では、犬とその飼い主が互いに見つめあったときに、人の体内で脳の下垂体から「オキシトシン」というホルモンが分泌されることが分かったと報告されました。つまり、良好な関係が築かれ、闘争とか恐怖心を減少させる効果があるようです。

注)図 6.7 は縄文柴犬を除く以下の犬種図鑑より

①世界の犬種図鑑(誠文堂新光社)

②David Alderton(Eyewitness Handbook)

図 6 同じ遺伝子の犬たちの比較

スパニッシュ・マスティフとチワワの比較

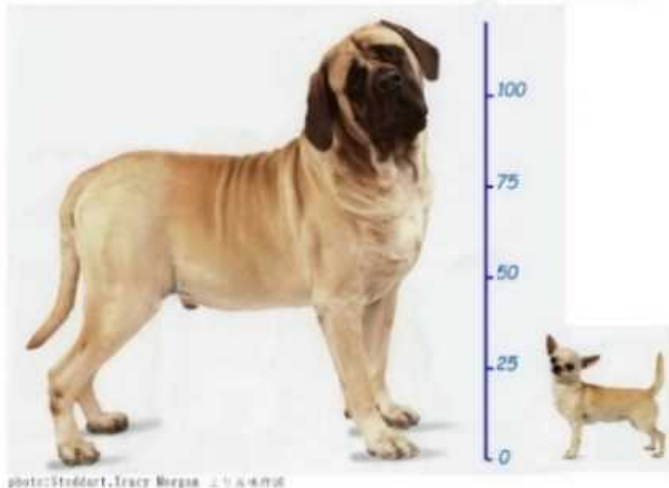


図 7 左から ・ブルドッグ ・シバイヌ(頭骨写真:前記図1・歯界展望より) ・縄文柴犬

Ⅲ-保存・繁殖の重要性について

1). 保存・繁殖と研究活動は一对です

保存するための繁殖は、様々な研究活動と切り離せません。縄文柴犬は、必要な性能を維持し環境に適応する能力がある一方で、前記、Ⅱ-(6)でも述べたよう

に僅かな注意を怠ると簡単に短期間で変異します。可愛くて、人懐っこい気質が強調されると、やがて本質的な縄文柴犬の風貌から離れます。イヌについての根拠を示した主体性が失われると、多数の思考に迎合し縄文柴犬の特徴は失われるでしょう。現代社会の中では、人や他犬に友好的な性質も保持することが重要な

のは云うまでもないことです。

更に、縄文時代には当たり前であろう、厳しい自然淘汰や人為選抜が現代社会では無く、虚弱で劣悪な犬でも飼育されます。一方、人から観た外見の「優秀一番」が追求された結果、科学的思考から遊離する状況があるのは、周知の通りだと思います。また、過去（過度）の近親交配による劣悪な性能の蓄積を回避するための捉え方、その思考と管理は、重要になると思います。

これらの問題を解決できるのは、“縄文柴犬は特定の個人や団体の私有物ではない”という商業活動に傾倒しない思想と、犬への愛情であり、そして保存と研究であり、政治的な道具の利用から離別すべきです。JSRCは現在まで、里親制度を実施して10年が経過し、これを踏まえた新たな取り組みに差し掛かりました。

## 2). 過去から経験を学ぶ

日本列島が誕生し島国になった頃から、まだ解き明かされていない縄文柴犬の、歴史を顧み、およそ一万年以上の物語が続きます。ここまでを振り返って、犬の研究は単なるイヌを学ぶ話ではなく、人類がどう関わり生きてきたのかを学ばないと、イヌ学の本質は見えません。我が国の、イヌ学は類例がないと思われる程、豊かで広く深く素晴らしい過去が存在しています。我々はこの豊かな内容を知った以上、「研究・伝承」に相応しい活動の展望を描く必要があり、一面的な方向に陥ってはならない理由があるところです。

環境破壊や、生態系の乱れ、原発問題、自然界にはこれまで存在しなかった化学物質が増え、環境ホルモンが問題になる現在、この地上に、生物界に、緊急課題があまりにも多すぎます。しかし、それらに怯むことなく大いに挑戦する価値があるでしょう。JSRCはいま、この縄文柴犬を単なる原種的とか、可愛い、獣害対策などの、犬自慢・人気取りの旗振りは望んでいません。

JSRCとして、これまで未経験の、未知への展望に向けた地道な挑戦になるでしょう。その最優先事項が、繰り返しですが縄文柴犬の保存活動であり、社会的協働への探究でしょう。そのための第一歩は「イヌ」の基本・科学的な理論によってのみ、新たな時代に即した必要とする展望に確信がもてるでしょう。

## 最後に-

私の研究を助けて下さった方々に、この場にて感謝申し上げます。

茂原信生先生には、私の未熟な知識、イヌに関する考え方など、長年にわたり適切に、多くのご教示をいただきました。特に忘れられない、1984「ヒトの咀嚼器官の未来を示すもの-歴史の実験としての将軍とイヌ」に出会って以降、頭蓋や四肢骨に接し、「斎藤弘吉の犬科動物骨格計測法」について学ぶ機会をいただきました。まだまだ中途半端ですが、更なるテーマについて、今後も探究に精進したいと考えております。

金子浩昌先生とは、文字どおり言葉にならないほど、数々のご教示、感謝で一杯のお付き合いです。考古学からの、縄文時代の狩猟に関することから、犬に対する私の考えを根底から変えることになりました。本誌に寄稿いただきました「縄文人の動物たちへの思い」は、その総集編のようであり、温かな人柄に触れ、人間的に貴重な体験をさせていただきました。振り返れば1984「貝塚の獣骨の知識(東京美術)」を目にしてからの30数年間、浅学ながら縄文時代から現在までを考えながら、大きな視野で楽しくイヌを学ぶことができました。

藤井忠志先生(岩手博)・根深誠(元登山家)氏をはじめ「クマゲラ」メンバーから、JSRC 創立時には欠くことのできないご協力を頂き、今日に至ることができました。「北上山地の獣害問題と縄文柴犬(会誌 20)」では、多くのご教示をいただきました。

小原秀雄先生からは、何度かの投稿との過程で、進化に関するご教示を頂き、嬉しかった当時の感動が忘れられません。

議論がそのままの中村先生、増井先生、小山先生から多くのオオカミとイヌ関連について、教えを頂きました。

そして30余年前、大曲市長のご支援は忘れられません。またJSRC設立に、力強いご支援の初代理事長・新美治一先生、時間はかかりましたが、若い世代中心に移行することができ、同時に、今後が楽しみとなりました。

ここにお名前を書ききれませんが沢山の会員と内外の仲間たちから、暖かいご声援をいただき、心からお礼申し上げます。これからもよろしく願い申し上げます。本当にありがとうございます。(2020.5.5)